

IV. 訓練の流れ

1. 〇〇時〇〇分 大規模地震発生
2. 〇〇時〇〇分 自治会長は「総括班」を自治会館に招集 ← 無線機活用?
3. 〇〇時〇〇分 自治会長は「各町内会長」に町内毎災害拠点設置を指示
→町内会長は、各拠点に移動
4. 〇〇時〇〇分 自治会長は、情報・連絡班とし、広報部会員を招集
→自治会館には、会長・代表副会長・総務部会長・会計部会長・防災部会長・広報部で自治会の対策本部を設置し、各町内からの進捗状況や安否確認の報告を受け、記録する。
5. 〇〇時〇〇分より 各町内役員は、町内災害拠点設置箇所に参集
6. 各町内毎に、防災部員の指示で災害拠点を設置
テント設営、机、テーブル、椅子、組長及び会員名簿の提示、安否確認受付所等の準備
7. 役員参集者の受付、役割分担の指示
8. 安否確認者の班割及び安否確認箇所、携帯用品の指示(防災部員等による)
9. 安否確認出発 → 2人1組(各町内の組数により訪問数は異なる)
※ 町内会役員が、組長宅を訪ねて「安否訓練を実施していますので伺いました」の挨拶程度とし、留守は飛ばして回ってくる。
10. 安否確認者の報告 → 組別安否確認者より、町内災害拠点安否確認受付に報告
※組長の在宅○軒、不在○軒程度の報告。
11. 安否確認状況の集計→組別の会員数、在宅数、不在数を合計
12. 自治会本部へ集計結果を報告 → 11の集計を各町内毎に報告、本部で集計
13. 自治会本部の指示で、災害拠点を片付け整理
14. 各町内毎に反省会を行い、随時散会
15. 自治会館で反省会(参加者は別途)の後、散会

尚、情報班は、各町内の進捗状況を随時自治会館の本部へ連絡すること。

詳細は、防災部会(又は、実行委員会)で検討